

【家庭数】  
保護者様

平成29年10月31日

横浜市立永谷小学校  
校長 丸山 邦子

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査 永谷小学校の結果について

秋の気配が深まる頃となりました。皆様には日頃より、本校の教育活動にご協力くださいますこと、改めてお礼申し上げます。

さて、今年度4月に第6学年で実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から届きました。

そこで、その結果につきまして本校研究部にて精査し、分析いたしましたのでお知らせいたします。ぜひ、お読みいただき、本校の教育活動に対して、さらなるご理解くださいますようお願いいたします。

### 1. 生活意識について

生活習慣・学習習慣調査結果	全国 (%)	永谷小学校 (%)
毎日同じくらいの時間に寝ていますか。	38.2	35.4
毎日同じくらいの時間に起きていますか。	58.9	44.3
朝食を毎日食べていますか。	87.0	86.1
携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	30.9	49.4
難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか。	26.7	29.1
自分には、よいところがあると思いますか。	38.6	27.8
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	26.9	27.8
国語の勉強は好きですか。	25.5	32.9
算数の勉強は好きですか。	38.5	39.2
読書は好きですか。	49.0	50.6

「携帯電話等の使い方について家庭で約束している児童の割合」が、全国平均を上回っています。毎年、児童の安心・安全のために、学校と家庭が協力して、防犯寺子屋や携帯電話教室による指導を積み重ねてきた結果と考えられます。

また、「国語や算数の学習が好きな児童の割合」や「読書が好きな児童の割合」は、全国を上回っています。学習に対する意欲が高い反面、「自分にはよいところがあると思う児童の割合」が、全国平均に比べてだいぶ低く、自分に自信をもち目標に向かっていこうとする児童の育成が課題として浮き彫りになりました。今後も、児童が学習や学校生活で生き生きと活動できる永谷小学校を創っていけるよう、教職員一同努力してまいります。

## 2. 学習状況について

学習調査結果	国語A	国語B	算数A	算数B
永谷小学校 正答率 (%)	72	54	75	42
横浜市 正答率 (%)	75	59	80	48
全国 正答率 (%)	75	58	79	46

国語A（知識に関する問題）国語B（活用に関する問題）の調査では、全国平均や横浜市の平均より3～5ポイント下回る結果でした。算数A（知識に関する問題）算数B（活用に関する問題）の調査でも、4～6ポイント下回る結果でした。この結果の詳細を下にまとめました。

### 国語A（主に知識に関する問題）

「話す・聞く能力」について、全国平均を6ポイント（P）、「書く能力」は1P上回っていました。一方「言語についての知識・理解・技能」では、全国平均を5P、「読む能力」は、3P下回っていました。

### 国語B（主に活用に関する問題）

「話し合いでの発言の意図として、適切なものを選択する問題」では、全国平均を3P上回るなど、自分の考えを広げたり深めたりする意図を捉えることができました。一方、「文章全体の構成を考える問題」では、7P下回りました。

### 算数A（主に知識に関する問題）

「数量の関係を数直線に表す問題」で全国平均を上回るなど、「数量や図形についての知識・理解」は、全国平均に近い正答率でした。一方「 $6+0$ 、 $5\times 2$ 」等の計算問題で11P下回るなど、「数量や図形についての技能」については、低い正答率でした。

### 算数B（主に活用に関する問題）

「数学的な考え方」を問う問題の正答率は、全国平均に比べ5P下回り、特に、基準量と比較量の関係を表している図を判断する問題では、全国平均との差が大きく開きました。「数量や図形についての知識・理解」では、平均値をわずかに下回る結果でした。

この本校の6年生の児童の調査結果から、本校児童の学力の状況について、国語では、話す・聞く・書くなど、自分の考えを表現する能力が身につけていますが、漢字などの文字や語句を正しく用いる能力などに課題が見られました。算数では、特に、計算や図形の性質を調べるなどの「数量や図形についての技能」や数量や図形について、関連付けながら正しく解釈し、記述するなどの「数学的な考え方」について課題だということがわかりました。

今後さらに、基礎・基本の学びを充実させ、知識を定着させること。さらに、その知識を活用し、文章から読み取ったことや自分の考えを表現する能力を育成することに力を入れ、授業づくりをしていきます。

\*今年度も正答率は、文部科学省、市教委からの文書が整数値で示されているために、同様に本校の正答率も整数値で表しました。